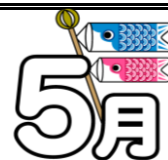




学校だより



横浜市立浦島丘中学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/urashimaoka/> ☎045-421-6281

「小満」に思う

副校長 野口 由香里

この4月に、南区の南が丘中学校から着任しました副校長の野口由香里と申します。前任校は京急線の弘明寺駅から上大岡駅の西側が学区でした。「丘」という漢字がどちらも校名に使われている通り、この季節はどちらの学校でも朝出勤すると丘から爽やかな風が通り抜け、葉がこすれ合う音と小鳥のさえずりが聞こえます。

この時期のことを二十四節気では「小満」といいます。二十四節気とは、1年を約15日間ずつ24等分し、それぞれの時期にふさわしい季節の名称をつけた暦のことです。二十四節気の日付は年によって変わり、2026年の小満は5月21日でした。期間でいうと6月5日までを指します。ちなみに、小満の前は暦のうえでは夏となる「立夏」です。そして、小満という言葉は「万物が成長して天地に満ち始める」という意味をもっています。また、昔は秋に蒔いた麦が順調に育って穂をつけ、農家の人々が「少しホッとして満足する」ことに由来するという説もあります。新年度の環境の変化や慌ただしさが一段落して、日々の小さな幸せや順調な成長をかみしめる、そんな穏やかな気持ちにもなれる言葉だと思っています。

さて、5月は各学年とも校外学習に向けての活動が、中心となっていました。まず、2年生が5月13日から1泊2日で千葉県南房総市へ自然教室に行きました。3年生は今週28日から2泊3日で長崎・福岡に修学旅行に行きます。そして、1年生が29日に金沢区の海の公園へ校外学習に行きます。私は、2年生とともに自然教室に行きました。穏やかな岩井海岸で、きれいな貝殻やシーグラスを見つけて小さな幸せを感じたり、2日間でしたが2年生の生徒たちが互いに声をかけ合いながら、集団として順調に成長していく姿を見たりすることができました。

学校教育の中で「生きる力」を育むためには、自然や社会の現実に触れる実際の体験が必要であるといわれています。子どもたちは、具体的な体験や事物との関わりを通して、感動したり驚いたりしながら「なぜ、どうして」と考えを深め、実際の生活や社会、自然のあり方を学んでいきます。そして、そこで得た知識や考え方をもとに、実生活の様々な課題に取り組むことで、自らを高め、よりよい生活を創り出していくことができるようになります。どの学年も仲間と協力して、日常の学校生活ではできない体験や人とのかかわりを通じて、たくさんのことを吸収してきてほしいと願っています。



春の防災訓練 4月24日 5・6校時

学活中に地震が起きたことを想定し、「全員が安全かつ迅速に避難することができるよう、避難経路を確認すること」「生徒の在校時における大地震発生において安全確保を図るため、迅速かつ的確な実践的緊急避難を行うこと」を目的とし避難訓練を実施しました。今回の訓練内容は、①大地震発生想定でグラウンドへの一時避難、②二次避難として居住地区別の地区別集会、③教室に戻って、有事の際に集団での意思決定をスムーズに行う学習「クロスロードゲーム」をグループに分かれ実施の3点でした。命を守る大切さを高めることができました。

「サヘルの森」資源回収委託式 4月27日

特定非営利活動法人サヘルの森 運営委員 榎本肇 さんをお招きし、昨年度に資源回収をした牛乳パックとアルミ缶をお金に換えて合計49,126円を寄付しました。この寄付金は、砂漠化しているマリ共和国の里山を育てる「サヘルの森」事業に役立っています。榎本さんには、マリ共和国についてやそこに暮らしている人々の実態について、わかりやすく講演していただきました。浦中ではこの「サヘルの森」事業が始まった翌年の1989年から地域の皆様の協力のもと資源回収金を38年間も委託しています。「SDGsの取組」という伝統が継承され続けることはとても誇らしいです。これを機に、環境・国際問題への意識をさらに高め、福祉委員会を中心に、浦中生一人ひとりが、地球環境保全に貢献する気持ちを強くもち、資源回収活動をさらにすすめていくことを期待しています。



おおはば 大幅UP	7年度	6年度	5年度
牛乳パック	690Kg	690Kg	417Kg
	10626円	10626円	6006円
アルミ缶	385Kg	290Kg	250Kg
	38500円	29000円	21250円
合計	49126円	39626円	27256円

校外行事（2年自然教室 千葉県岩井海岸 5月13日～14日）

自然教室実行委員長のことは ※他学年は6月号で掲載予定
5月13日、14日に自然教室に行ってきました。行く前は、忘れ物やいつ何が起こるか分からないので不安でした。しかし、友達や先生方のおかげで無事に一泊二日を終えることができました。夜レクでは、コントをしました。他の人がダンスや手品をパフォーマンスをする際、自分を含めて有志の人たちはガチガチに緊張していたと思います。そのとき青学年のみんなが最初から最後まで盛り上げてくれて緊張がほぐれて、やりやすい環境をつくってくれて本当に温かさを感じ安心しました。そこが青学年の良いところだと思っていました。おかげで、忘れられない最高すぎる思い出になりました。この青学年の良い所を3年生の修学旅行、体育祭、合唱コンで活かしてほしいです。そして、青学年には自然教室のスローガン「考動～自然の中で最高の仲間～」をこれからの学校生活でも意識してほしいし、周りに流されずに今がどういう状況かを考えて行動できると最高です。